

# 河川調節池多目的利用による公園整備事業

—No.32 三郷市—

## 【事業の内容】

三郷インターA地区土地区画整理事業地内の河川調節池を多目的利用し、公認陸上競技場を備えた都市公園の整備を行います。

【事業年度】 平成27年度～平成29年度

【予算額(千円)】 366,000千円(平成28年度)

## 【財源】

社会資本整備総合交付金(国)、地方債(一般事業債、公共事業等債)、その他特定財源(市、公共施設整備基金)

## 【事業実施に至った背景・経緯】

近年、生涯をとおした生きがいづくりや健康づくり、仲間づくりへの市民の関心が増えてきました。中でも、スポーツやレクリエーションに対する関心が高まっており、このような市民ニーズに対応するため、市内には、屋外運動施設が数多く整備され多くの市民に活用されています。しかし、公式競技や大規模なスポーツ大会を開催できる高規格の運動施設がなく、また、他の種目と複合利用となり専用施設のない競技種目もあります。

そこで、高規格な運動施設を整備し、スポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりの実現に向け、埼玉県が整備をした第二大場川の河川調節池を多目的利用し、全天候型400mトラック8レーンを要する日本陸上競技連盟公認の陸上競技場などを備えた都市公園の整備を行います。

## 【事業のPRポイント】

本調節池は、面積約6.8ヘクタール、貯水量14万立方メートルの河川施設です。

調節池の多目的利用に当たっては、この貯水量を変えることなく、約2.7ヘ

クワールの陸上競技場を中心とした都市公園の整備を行います。

本公園は、調節池内にあることから、大雨時などは河川からの流入水により水没することが前提となります。そのため、維持管理面を考慮し陸上競技場への冠水頻度を少なくするために、陸上競技場の外周部に小堤を築きます。

なお、この小堤は、階段状に整備することにより、約 1,500 人が利用可能な観覧席として利用する予定です。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

本公園の整備により、大規模なスポーツ大会の開催が可能となるなど、スポーツをとおして地域間交流の活性化に向けた取組のきっかけとなることを期待しています。

陸上競技場のインフィールドでは、多くの利用者が気軽にスポーツに親しめるように、通年利用可能でクッション性に優れた人工芝を採用します。これにより、陸上競技以外にもサッカーやラグビーなどの公式競技会場として効率よく多様なスポーツやレクリエーションを楽しむことができるようになります。

また、本公園は、三郷インターチェンジから近い好立地のため、近郊のスポーツ愛好者にも快適なスポーツ・レクリエーション環境を提供することができます。今後、市内の大会にとどまることなく、広域的な大会等の誘致についても働きかけていきます。

(イメージパース)



〔 連絡先 〕

みどり公園課 運動施設プロジェクト室 048(930)7744